

てしかがが歴史写真館 149



民芸品の行方

ドン、ドン、ドスン、手おので荒々しく大まかな形を作り。
 コレ、コレ、コーン、たたきノミが生き生きとした熊の姿を誕生させます。
 心地よい音が遠くまで響くアイヌ木彫り独特の技法。1965(昭和40)年5月、20
 歳の私が初めて体験した、阿寒アイヌ部落(当時の呼称)の民芸品制作現場です。
 アイヌ彫刻家として、今も先頭を歩いている藤戸竹喜、床ヌグリ、滝口政満、3
 氏の若き姿もありました。大正時代、旭川とハ雲において、既に彫刻技術を持っ
 ていたアイヌの人たちによって作られた木彫りの熊が、アイヌ民芸品の始まりだ
 と伝えられています。

わが町でも、湯治客の増加に伴い温泉町としての拡大が進み、民芸品制作も
 盛んになりました。屈斜路では1933(昭和8)年に制作が始まり、1963(昭和38)
 年には古丹に民芸品共同製作所が作られ、技術の継承も図られました。当時は
 夏だけの観光でしたので、冬季間は制作だけに専念できる、ゆるやかでゆとり
 のある行程でしたが、通年観光になると販売に重きを置くようになり、商品制
 作を卸問屋に頼ることになりました。さらに、道内販売だけにとどまらず「北海
 道物産展」を集客の目玉とする道外大型店にも競って参加。本来は地方の文化
 や物産を紹介する目的の「物産展」ですが、大盛況が次第に「物販店」に流れを変
 え、販売競争や新製品開発競争が激化、参加意義が大きく失われてしまいました。

道内各地、各店でも民芸品の同一化が進み、価格競争が中心になり、わが町で
 も民芸品店の衰退が続いているのが現状です。いつでもどこでも見たり、買え
 たりする時の流れを変えることはできませんが、弟子屈町に来なければ、見ら
 れない、買えないという小さな流れをコツコツと重ねていかなければと思っ
 ています。

サァ!! 新しい熊の木彫り制作に一步を踏み出しますか。

※写真はてしかががの蔵に展示されているニポポ(アイヌの郷土玩具)と木彫りの熊です。

てしかがが郷土研究会(充洋)



「達成感とともにゴール！」

弟子屈町未来子ども協議会の主催で今年も行われた「元気い
 っぱい! 僕らの旅! (アドベンチャーツーリング2013)」。
 8月5日に佐呂間町を出発した小学生11人が、自転車200
 キロを走り抜き、11日にそろって弟子屈町に到着しました。
 (関連記事2~9ページ)

Public relations magazine

2013.9 No.709

てしかがが

主な内容

- 元気いっぱい! 僕らの旅! ②
- 防災ニュース ⑩
- 老人ホームの移転新築に向けて ⑫
- 大規模建築物などの耐震診断が義務化されました ⑬
- 弟子屈 2 days えこパスポート ⑭
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設 ⑯

てしかがが 2013.9

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ㊚482-2696
 〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

12100 この広報紙には再生紙を使っています

元気いっぱい！ 僕らの旅！

自ら挑戦し
達成感を
分かち合う旅



アドベンチャーツーリング2013



弟子屈町未来子ども協議会(目黒厚子会長)主催の「元気いっぱい！僕らの旅！(アドベンチャーツーリング2013)」が、今年も8月5日～11日の7日間にわたって行われました。

テーマは「自ら挑戦し、達成感を分かち合う旅！」。小学校1～5年生11人と、サブリーダーの中学生2人が参加し、テントでの寝泊まりや自炊を行いながら、総走行距離約200kmの自転車ツーリングに挑戦しました。

活動の目的はどこにあるのでしょうか。そして、参加した子どもたちの様子は…。

写真で活動を振り返りながら、内容を紹介します。

今年も子どもたちの挑戦の夏が
終わりました。

「元氣いっぱい！僕らの旅！」
アドベンチャーツーリング2013」
は、弟子屈町未来子ども協議会が主
催して今年で3回目。今年は小学校
1～5年生11人が参加し、非日常体
験や野外体験、仲間と協力し合う活動
を通じて、一回り大きくなりました。
こうした活動の目的はどこにあ
るのでしょうか。



テントを張ったり炭をおこしたり…「日常」や「便利」から
かけ離れたところで仲間と経験することで培われるもの

子どもたちの課題の解決 そして人づくりへ

アドベンチャーツーリングは、町
教育委員会が主催・実施していた
「てしかが冒険隊アドベンチャー
ツーリング」を、未来子ども協議会
が引き継いで行っています。町教育
委員会が3年、同協議会が3年と活
動を積み重ねてきましたが、その目
的は「人づくり」です。

- 現代の子どもたちは、次のような課題を抱えているといわれます。
- コミュニケーション能力の低下。
- 指示されないと行動できない。
- 逆境に弱い。
- 発想力に欠ける。

- 好きなことにしか取り組まない。
- 計画を立てられない。
- 感動しない。感動できない。
- ストレスを抱える子どもが急増しているが、ストレスに耐える力を持つことができない。
- 自分を認めたり自分に自信を持つたりする、自己肯定感に欠けている。

こうした課題の原因・背景には
「社会の変化(不便のない生活環境)」「
「人間関係の希薄化(自己中心社会・
信頼関係の欠如)」「遊びや体験環境の
変化(室内型・組織化)」が考えられて
います。昔であれば、大家族や親密
な近所付き合いなどの中で自然と
身につけていったこと、恵まれない

非日常体験や野外体験を通して 人間力のあるたくましい大人に

見守りに徹して成長を促し
共にたどり着いたゴールで
子ども笑顔をうれしく思う

「元気が
つばい！僕
らの旅！ア
ドベンチャー
ツーリング」
は、今年で
3度目の夏
を迎えまし
た。今年
同協議会
からアドベ
ンチャーツ
ーリング実
行委員会
を立ち上げ、協議会員10
人がスタッフとなつて始
動しました。

参加した子どもたちは、
第1回目の活動から非日
常体験の連続でした。グ
ループやスタート地点を
決めるときは、学校の勉
強時間よりも長い時間話
し合いをしました。私た
ちスタッフは「子どもたち
が主体となる活動を目的
としているため、見守り
が中心で、よほどのこと

がない限り口や手を出し
ません。知識的に分から
ないことを教えることは
あっても「こうしたら？」
など、決定づける言葉が
ありません。すると子
どもたちは『自分たちで
決めないと何も決まらな
い』と思ったのでし
ょう。今年
は高学年は慣れないなが
らも話し合いを進め、低
学年は意思表示をして、
自分たちの旅をつくり上
げたのです。本番は6泊
7日間、自転車で行
ながらキャンプ場に宿泊
しました。頑張つて自転
車をこいで到着地に着き、
テントを張つて寝床の確
保をする。自分たちで夕飯
を作つて食べて、片づけ。
終わったら振り返りをし
て寝る…という毎日。こ
のときもスタッフは見守
りに徹するので、グルー
プリーダーを中心に一生
懸命頑張っていました。
疲れがたまり始める

徐々に気持ち
が追いつけ
なくなり、
き、すべ
き、すべ
出した
ケンカ
つたりしてグループ内
悪い空気が漂いますが、
活動3日目くらいから
『みんなと協力して頑
張る』と、気持ちの変化が
見え始めます。やっとま
まりが出てきて、これか
らだ！と思つたときには
最終日というのが毎年残
念ですが、子どもたちは
旅が自信となり、全員と
びっきりの笑顔でゴール
します。出迎えた家族が
「顔つきが変わつた」と驚
くほどいきいきとしてい
て、スタッフも一番うれ
しい瞬間です。スタッフは
仕事をしながら活動の
打ち合わせを何度も行
うので、正直負担に思つ
たこともありすが、ゴール
した子どもたちを見ると
「頑張つてよかったな」「ま
た来年も頑張ろうかなど
いう気持ちになります。
この事業は、町教育委
員会が主催・実施してい
た。てしかが冒険隊アドベ
ンチャーツーリング」を、
同協議会が継承する形
で実施しています。かつ
冒険隊に参加していた奥
村一揮君(北翔大学2年)が
昨年に引き続き、グルー
プ付きのスタッフとして



弟子屈町未来
子ども協議会
実行委員

竹内 瑛美 さん

た。若いスタッフが
いて、子どもたちがより
活発になるなどの効果も
あり、今後も継続してい
きたいと思っています。
アドベンチャーツ
ーリングのみならず、さま
ざまな体験活動の機会を
子どもたちに提供してい
たいと思います。

さまざまな体験活動や集団活動の
場が必要であると考えています。非
日常体験や野外体験などを通して、
子どもたちが「人間力」を兼ね備えた
大人に成長することを、同協議会で
は願っています。

家庭・学校・地域連携の下 豊かな子どもを育てたい

子どもたちが「人間力」を兼ね備え
た大人に成長した先にあるもの。そ
れは、その力を発揮して地域づく
りを担ってくれることだと考えます。
つまり、人づくりは地域づくり。そ
ういった観点から、さまざまな体験
活動や集団活動が子どもたちに必
要だと考えています。

そうした機会を子どもたちに提
供したいと、同協議会ではさまざま
な事業を展開しています。子ども
たちが健やかにたくましく成長でき

物質面ではいろ
いろと工夫を凝
らし、何より大
自然の中で遊ぶ
ことで育まれて
いったことが、
現代の子ども
ちには欠けてい
るということ
でしょう。だから
こそ、現代の子
どもたちには、

るように、また、地域に対する愛情
を育んでいけるように…という思
いからです。
根底にあるのは、子育ては家庭と
学校、地域が一体となって行うもの
だという理念です。この理念は第5
次弟子屈町総合計画にもうたわれ、
具体的な事業としては町教育委員
会が行う青少年健全育成事業など
がありますが、さらに地域に密着し
た子育ての受け皿になりたいと、同
協議会では考えています。

地域での子育ての 受け皿・窓口として

ところで、皆さんは弟子屈町未来
子ども協議会をご存じですか。

同会は2006年10月1日設立
で、現在の会員は約25人。子育て世
代のお父さん・お母さん、子育てが
一段落ついたおじいちゃん・おばあ
ちゃん、保育士や元保育士、元教師、
保健師などで構成され、子どもたち
の健やかな成長を地域として支える
ために、さまざまな活動を行って
います。

同協議会では随時、会員を募集し
ています。申し込み資格は特にあり
ませんので、お気軽にお問い合わせ
ください。
□問い合わせ先/会長・目黒 ☎48
2・3062、事務局長・奥村 ☎
482・1770まで。



北海道教育大学
(アドベンチャー
ツーリングスタッフ)

米永 里瑚 さん

私は今まで、子どもに
関わるボランティアをい
ろいろ経験してきました
が、こんなにも子ども
ちと深く関わり、スタッ
フの方々とうしたらより
よい事業になるかを真剣
に考えた活動は初めて
でした。本当に多くのこ
とを学びました。
子どもたちは日に日に
成長し、グループの中
で自分の役割をしっかりと
見つけ行動をしたりする
子の姿が増え、とても感
激し、やりがいがありま
す。

この
アドベ
ンチャー
ーリング
は、子
ども
ちが主
体でス
タッフ
は見守
りに徹
するこ
とだ。

で行われて
いるので
が、初め
どこまで
入してい
のだから
悩むこと
ありません
と、紹介
してくだ
さい。
482・1770まで。



グループ決めについて話し合った第1回目(上)
第2回目ではスタート地点とコースを決定(中)
第3回目はキャンプの練習 食事の用意も自分たちで行う(下)

アドベンチャーツーリングが目指すもの
未来子ども協議会が主催する体験活動の中で、アドベンチャーツーリングは「たくましく育てほしい」「仲間と協力し、信頼関係を築いてほしい」「自分に自信を持ってほしい」というねらいで行われています。そのためには、子どもたち自身を中心に、日頃行わない活動に挑戦すること、挑戦によって「気づき」を得ること、「気づき」によって子どもたちも保護者もスタッフもみんな成長していくことが必要だと考えています。

ドキドキの第1回目
初めての活動は6月8日。保護者の皆さんから正式な参加申込書・参加承諾書が提出され、今年のメンバーが決まりました。開催に先駆け、5月31日には保護者説明会が開催されました。事業の趣旨や目的、内容などを理解していただいた上で参加していただきたいという思いからです。

このようにして、小学校1～5年生11人が町公民館に集まりました。初対面の参加者もいるため、初めに自己紹介やアイスブレイク(仲間づくりのゲーム)などを行いました。お互いに打ち解けたところで、ツーリング中のグループ分け。2つのグループができました。その後、ツーリング中に行いたい体験活動決め。子どもたちからは、海釣りや海水浴に挑戦したいという意見が出されました。

海水浴ができるのはどこか
前回は決めた体験活動、海釣りや海水浴。それができるのはどこ...と考えると、6月29日第2回目の活動ではスタート地点やその後のコースを決めました。地図と首っ引きで仲間と話し合いながらのコース決め。体験活動は何日目に組み込むのか、1日に自転車でも何km走ることができるとか...。考えることはたくさんあります。

この日の活動場所は仁多交流センター。途中、周辺を自転車でする練習もしました。参加者の大部分が小学校低学年。自転車での長距離走には課題も見えてきます。

テントを張って眠る 食事の支度も自分たちで
第3回目は7月20日～21日の1泊2日。桜ヶ丘森林公園オートキャンプ場でテント泊をし、自転車走行の練習をしました。

第4回目は8月3日・4日の2日間。5日のスタートに向けて最後の確認です。グループごとに目標やルール、食事の計画を決めました。さらに、持って行く道具を準備・点検し、積み込みを行いました。

翌日に迫ったスタート 最後の確認も怠りなく
第4回目は8月3日・4日の2日間。5日のスタートに向けて最後の確認です。グループごとに目標やルール、食事の計画を決めました。さらに、持って行く道具を準備・点検し、積み込みを行いました。

いざ本番 自転車旅の始まり
本番初日の8月5日は、公民館での出発式の後、バスでスタート地点へ移動。お父さんやお母さんが見送る中、バスは出発地の佐呂間町へ向かって出発しました。

その後の6泊7日の様子については、次ページからの写真をご覧ください。

12月には活動全体の振り返りを行います。

アドベンチャーツーリング2013の流れ

6月8日(土) 第1回目
参加者確定。自己紹介や仲間づくりのゲームなどで参加者同士の緊張をほぐした後、ツーリングのグループ分け、ツーリング中の体験活動などを決めました。



6月29日(土) 第2回目
ツーリングのスタート地点やコースについて話し合い、決定。その後、ミニツーリングと称して自転車走行の練習を行いました。



7月20日(土)～21日(日) 第3回目
1泊2日でキャンプとツーリングの練習。テントの設営や炭をおこしての食事の準備、自転車走行などを行いました。



8月3日(土)・4日(日) 第4回目
アドベンチャーツーリング本番のグループごとの目標や食事の計画を立て、必要な道具の準備や車への積み込みなどを行いました。



8月5日(月)～11日(日) 本番
町公民館での出発式の後、佐呂間町に移動してツーリングスタート。6泊7日で200kmを走破して、元気に弟子屈町に到着。



12月上旬 第5回目
活動の振り返りを行う予定です。



元気いっぱい！僕らの旅！

(アドベンチャーツーリング2013)本番の様子を写真で振り返ります。
 今年も北海道教育大学岩見沢校アウトドア専攻の学生を研修生として受け入れたほか、大学生や高校生のボランティアスタッフに活動を支援していただきました。活動中、スタッフは見守りが中心で、よほどのことがない限り手を出しません。子どもが伸びようとする場面を阻害せず待ち、正解を教えるのではなく「気づき」を与えられるように接することに重きを置いているからです。主体となって活動できる半面、子どもには負担も増えますが、そこを乗り越えてたくましく育ってくれるのだと思います。

- ① 8月5日、元気に佐呂間町を出発
- ② 暑さにも負けずに懸命にペダルをこぐ
- ③ 昼食タイム みんなの荷物も運ぶよ
- ④ 海水浴におおしやぎ
- ⑤ スタッフに見守られながら快走
- ⑥ 頼りになるサブリーダーの中学生
- ⑦ 中学生と火をおこす1年生
- ⑧ 初参加の1年生 食事の支度中、家族に会いたい気持ちが込み上げて
- ⑨ 小さなけがや虫刺されに悩まされ
- ⑩ 疲労とホームシックがピークの1年生を励ますボランティアスタッフ
- ⑪ チャレンジデー 雨模様の中、全員で裏摩周展望台へ
- ⑫ 自分たちで決めた体験活動の海釣り
- ⑬ 最終日前日、旅を振り返る
- ⑭ ランタンの明かりの下で夕食
- ⑮ バンクしたタイヤをスタッフが修理
- ⑯ ゴール地点で子どもたちを待つお父さん、お母さんたち

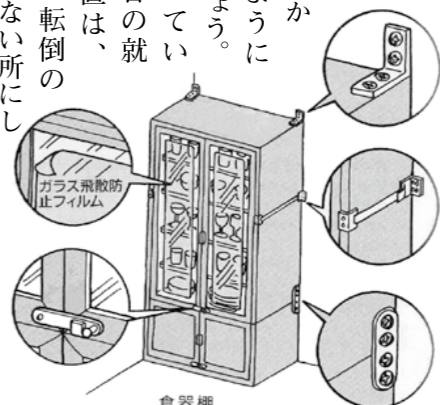
防災ニュース

9月1日は「防災の日」です。
日本は世界有数の地震大国です。地震などの自然災害は、いつ、どこで起きるか予測できず、避けることができないのが実状です。しかし、災害による被害を最小限に抑えるよう、日頃から自分のことは自分で行い、地域のことは地域でできるような心がけ、もしもの時の「備え」としましょう。「災害は忘れたころにやってくる」「減災は日頃の備えと心がけ」

【家庭でできること】
▼非常持ち出し品・備蓄品の用意
●非常持ち出し品はリュックに入れて、すぐに持ち出せる場所に置きましょう。
●停電や断水などにも備え、備蓄品も準備しましょう。
水、米、カップ麺などの食料



また、寝室には家具を置かないように置きましょう。寝位置は、家具の転倒の恐れがない所に行きましょう。



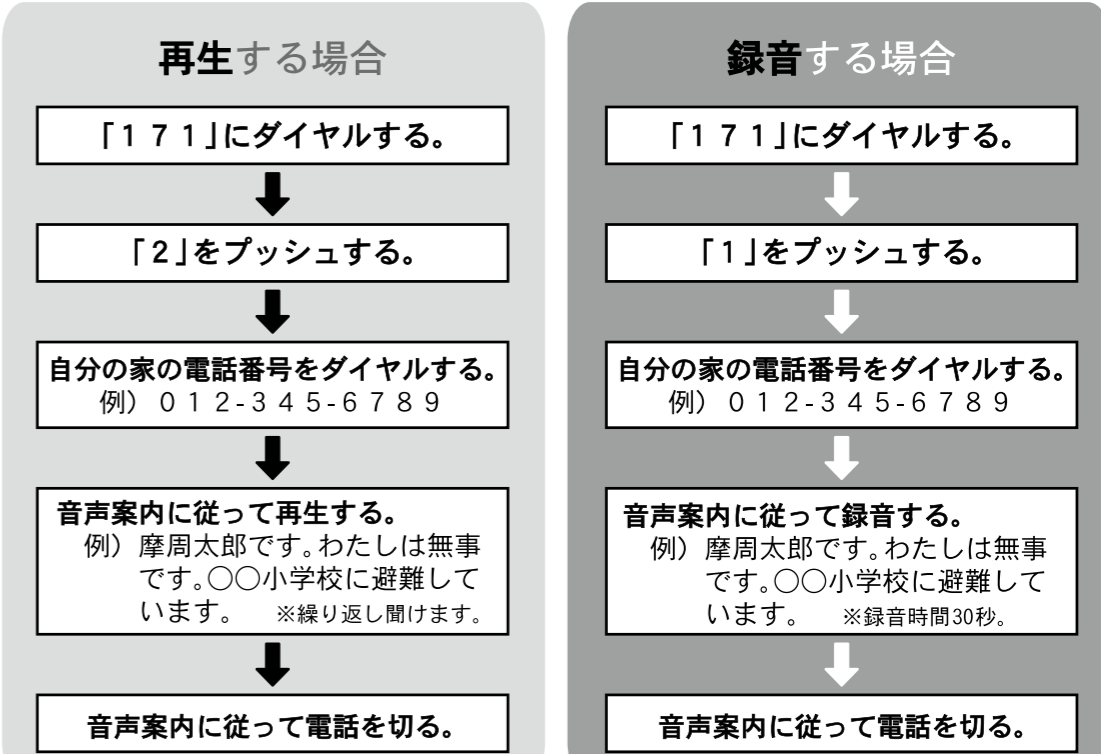
▼家具の固定
震度5強の地震では、大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しい状況になります。そのため、転倒した家具の下敷きになったり、食器類が飛散したりして、けがの危険性が高まります。家具は、転倒防止器具で壁に正しく固定しましょう。

▼家の中で比較的安全な場所
トイレや風呂場は、落下物が少なく、耐震性が高い空間です。ただし、ドアが1つのため、避難路を確保することが大切です。
▼災害用伝言ダイヤル「171」
地震などが発生すると、安否の確

請のため、皆さんの電話が使われ、電話が使えない状態が続きます。そんなときは「171」に電話します。「忘れてイナイ？」と覚えましょう。使い方については、下の図を参照ください。
毎月1日やお正月、防災週間(8月30日～9月5日)などに171にダイヤルすると、実際の使い方を体験することができます。ご家族で体験してみてください。

▼災害用伝言板(携帯電話)
【NTTドコモ】
<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
【au】 <http://dengon.ezweb.ne.jp/SoftBank>
<http://dengon.softbank.ne.jp/WILLCOM>
<http://dengon.club.ne.jp>

【イー・モバイル】
<http://dengon.emnet.ne.jp/>
□問い合わせ先
役場総務課情報防災係 ☎ 4822-91(内線307・308)まで。
<http://dengon.club.ne.jp>



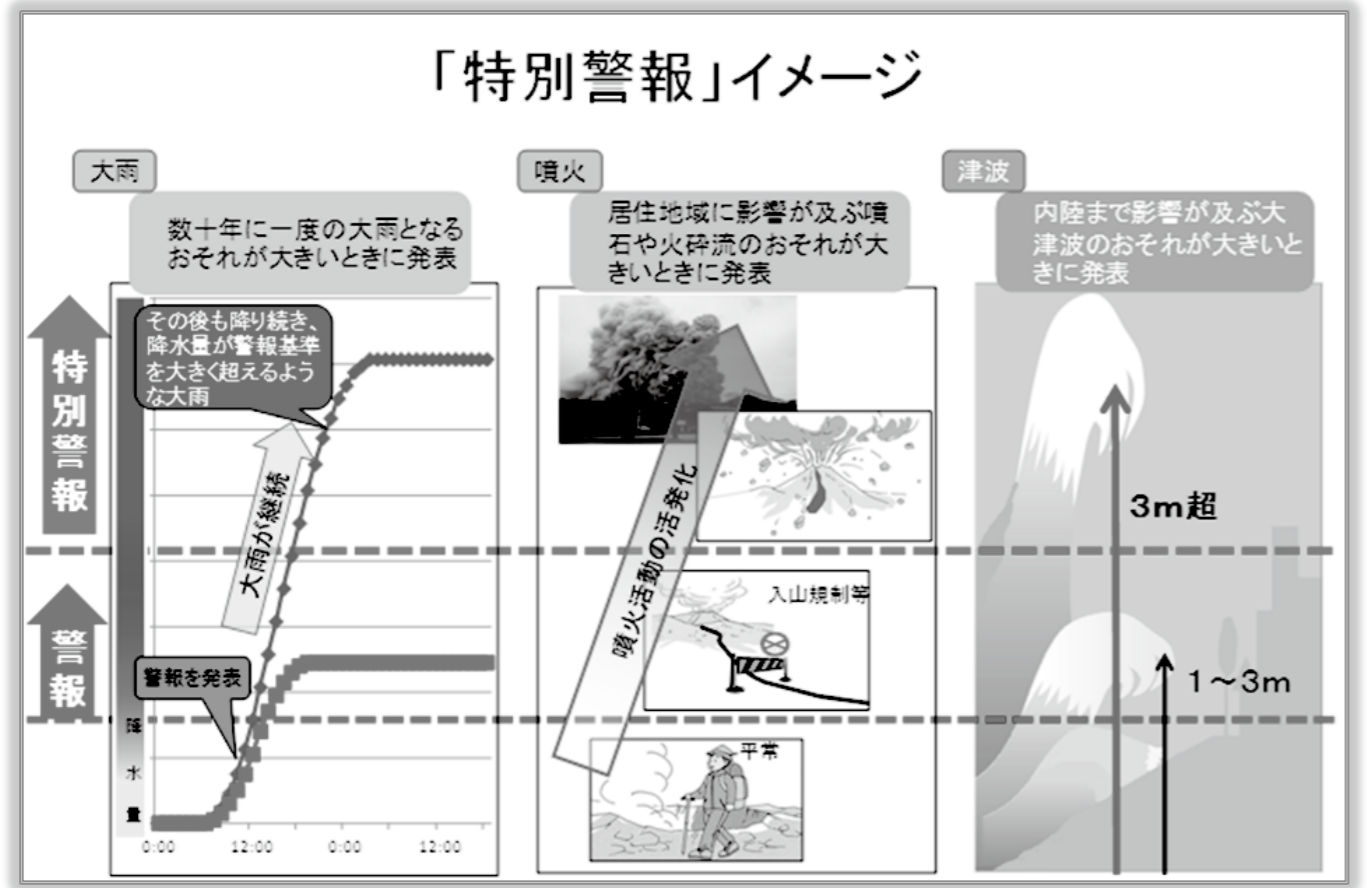
Jアラート全国一斉情報伝達訓練を実施します

平成25年度全国瞬時警報システム(Jアラート)による全国一斉情報伝達訓練が行われます。
▶日時/9月11日(水) 11時ころ・11時30分ころ
▶実施要領/消防の放送設備(拡声器)・役場庁舎内の館内放送を通じて、音声の流れます。
①試験放送(11時ころ)/チャイム～コールサイン～試験放送の連絡～コールサイン～チャイム
②訓練放送(11時30分ころ)/チャイム～コールサイン～訓練放送の連絡～コールサイン～チャイム
▶町民の皆さんへのお願い/今回は情報伝達のための訓練となりますので、避難など特別な対応は必要ありません。ただし、災害などが発生したときには、今回の試験放送と同様の音声の流れますので、警報システムの放送イメージを確認しておいてください。

問い合わせ先/役場総務課情報防災係 ☎ 482-2191(内線307・308)

8月31日から『特別警報』の発表が始まりました

気象庁では、これまでの大雨・津波・高潮などの「警報」に加え、新たに「特別警報」の発表を始めました。対象となるのは、東日本大震災時のような非常に高い津波や居住地に大きな影響のある火山噴火、これまでに経験がないような低気圧や台風による激しい豪雨、暴風など、異常な気象現象が発生した場合です。津波と火山噴火については、既にある大津波警報・噴火警報のうち、危険度が非常に高いものを特別警報として発表します。特別警報が発表された場合、お住まいの地域は一生のうちに何度も経験しないような非常に危険な状況です。屋外の状況や避難指示・勧告に留意し、命を守るために直ちに最善の行動を取ってください。従来の警報も、重大な災害の起こる恐れがある場合に発表しています。大雨などの被害を防ぐには、時間をおって発表される注意報・警報やその他の気象情報を活用し、早め早めの行動を取ることが皆さんや家族の命を守ります。詳細については、気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/index.html>)でご確認ください。



問い合わせ先/釧路地方気象台防災業務課 ☎ 0154(31)5146

大規模建築物などの耐震診断が義務化されました

建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、1981(昭和56)年5月以前に着工された建築物のうち、不特定多数の方が利用する大規模な建築物などについて、耐震診断の実施と結果の報告が義務付けられました。

▶対象/昭和56年5月以前に着工された大規模建築物(主なものは下の表のとおり)

用途	階数	床面積の合計
幼稚園・保育園	2階以上	1,500㎡以上
小・中学校	2階以上	3,000㎡以上
老人ホームなど	2階以上	5,000㎡以上
上記以外の用途	3階以上	5,000㎡以上

▶報告期限/平成27年12月31日

▶報告先/釧路総合振興局釧路建設管理部建設行政室建設指導課建築住宅係

※報告内容は公表されます。

※報告を行わなかった場合や虚偽の報告を行った場合は、報告や是正について指導があり、従わない場合は罰則も適用されます。

詳しくは、国土交通省ホームページ(<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155130714&Mode=0>)を参照ください。

問い合わせ先 釧路総合振興局釧路建設管理部建設行政室建設指導課建築住宅係 ☎ 0 1 5 4 ㊦ 9 1 9 2
役場建設課施設係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 1 (課直通)

大切な家を守るお手伝い

住宅建築資金の一部を助成

町では、住宅建築と定住の促進、地域の振興を目的に、住宅の新築・増改築、リフォームなどに要する費用の一部を助成しています。対象は本町に本店または支店、事業所のある町内業者と工事契約をした方で、金券取扱店として登録した店舗や事業所などで使える金券での助成となります。詳しい要件や手続き、助成金額などについては、お問い合わせください。

▶助成額

- 新築・増改築(500万以上)/工事請負契約金額の5%以内で、50万円を限度。
- 増築・リフォーム/助成対象経費の10%以内で、20万円を限度。

▶金券の取扱店を募集しています

建築資金の助成金として発行される金券の取扱店を募集しています。対象は町内に本店事業所を有し、事業を行っている方です。建設業に関わらず、小売業や飲食店、理容業など、たくさんの店舗の登録をお願いします。

住宅相談窓口を開設しています

「これから住宅を建てたい」「現在お住まいの住宅建て替えやリフォームなどのアドバイス」など、有資格者がさまざまな相談に応じます。

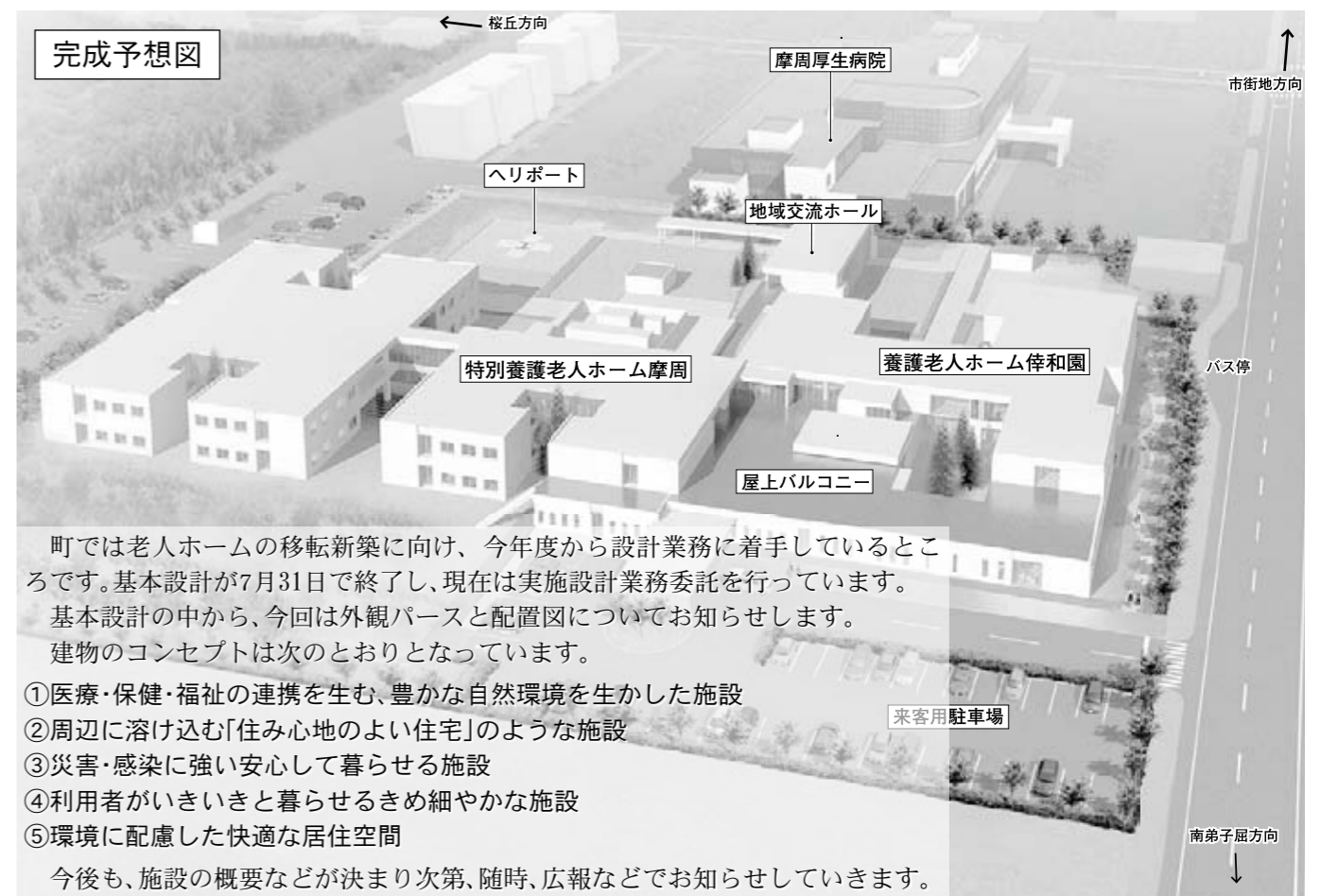
無料耐震診断と耐震改修補助を行っています

1981(昭和56)年以前に建設された一戸建て住宅に対し、無料で簡易耐震診断を行っています。耐震改修に対する補助も行っていますので、ぜひご相談ください。

問い合わせ先/役場建設課 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 1 (課直通)

基本設計が終了しました

老人ホームの移転新築に向けて



問い合わせ先/役場福祉こども課社会福祉係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通)

『てしかがえこまち推進協議会』専門部会員募集

てしかがえこまち推進協議会(会長・徳永町長)では、一緒に活動していただける専門部会員を常時、募集しています。協議会でのさまざまな取り組みに参加したい、日頃の思いや考えを皆さんの合意のもとで実現してみたい、意見交換してみたいなど、興味のある方はぜひ、専門部会員となってまちづくりを考えてみませんか？

▶てしかがえこまち推進協議会って？

観光は経済発展の原動力といわれ、多くの産業に多大な波及効果と雇用創造効果が見込まれます。しかしながら、現状は経済の低迷やガソリンの高騰、減少を続ける観光客と問題は山積みしています。

この協議会は、本町経済において観光を機軸として、さまざまな産業を包括した総合産業化に取り組み「循環型社会」を確立。町の「自立」や、その「持続」を図り「誰もが自慢し誰もが誇れる町」をつくることを目的に、町民の皆さんや地元観光関連事業者、地域組織・団体、各種行政機関などが一つになり、2008年に設立した組織です。

同協議会では年に数回、観光カリスマ・山田桂一郎さんとの意見交換を開催し、随時、専門部会や勉強会などを開いています。このほか常設のメーリングリストで日々情報交換をして交流を図り、情報共有を進めています。また、みんなで連携できるメリットを生かして、まちづくりやさまざまな業界全体の活性化を目指して、小・中学生や高校生、主婦、会社員など、さまざまな方が参加しています。

町民の方であれば、どなたでも入会でき、会費はかかりません。

▶専門部会

- ①エコツーリズム推進部会／町内でのエコツーリズム(地域の自然や歴史・文化などを観光の対象とし、それらを保存していく)による地域振興を進める部会。野外活動スキルアップ講習会やエコツアープログラム企画などを実施。
- ②情報部会／観光のポータルサイト(観光情報などを紹介するサイト「弟子屈なび」)や他の媒体を通じて、さまざまな情報を発信する部会。観光ポータルサイトやフェイスブック運営などを実施。
- ③女性部会／女性の視点で地域振興を進める部会。街コン(地域振興を目的とした交流イベント)開催や地域の宝探し事業などを実施。
- ④人材育成部会／地域の、主に観光分野における人材を育成する部会。花いっぱい体験会やファシリテーター(会議などの進行役)入門講座などを実施。
- ⑤食・文化部会／地域の食文化の研究や、地域食材のPRなどを進める部会。地場産品PRパンフレット作成などを実施。
- ⑥温泉街部会／地域の環境保全や温泉に関する取り組みを進める部会。温泉川清掃などを実施。
- ⑦UD(ユニバーサルデザイン)部会／地域のユニバーサルデザイン(文化・言語・国籍の違い、老若男女、障がいの有無に関わらず利用できる施設・製品・情報の設計)を進める部会。UD観光マップ作成、UDツアー企画などを実施。
- ⑧A & A (art & ad)部会／芸術による地域振興を進める部会。てしかがアートフェスティバル開催などを実施。

入会申し込み・問い合わせ先／てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係)
☎482-2940(課直通)・メール ecomachi@masyuko.or.jp

森林伐採には森林法の規定による届け出が必要です！

自分の山の木なら自由に切ってもいい。そのように思っている森林所有者の方はいらっしゃいませんか？

たとえ、あなたの山でも、森林を伐採するときは、市町村森林整備計画に従った適切な施業を確保するため、森林法の規定による「伐採及び伐採後の造林の届出書」の提出が必要です。

届け出は、保安林を除く地域森林計画対象民有林について、伐採を始める90～30日前までに届出書(伐採面積・伐採期間・伐採の方法、伐採後の造林樹種・造林方法など)を役場農林課林務係に提出してください。

☐問い合わせ先／役場農林課林務係☎482-2936(課直通)まで。

10月1日 平成25年住宅・土地統計調査

10月1日、5年に一度の住宅・土地統計調査が行われます。この調査は住宅・土地に関する最も基本的な調査です。対象となった世帯には、9月下旬から知事が任命した調査員が調査票を持ってお伺いしますので、調査票への記入、または、インターネットでの回答をお願いします。

調査結果は、国や地方自治体が住生活基本計画やまちづくり施策などを立案するための大切な資料となります。

調査票に記入していただいた内容は統計をつくるためのみに利用され、その他の目的に利用することは法律で固く禁じられていますので、ありのままをご記入ください。

☐問い合わせ先／役場総務課総務係☎482-2912(課直通)まで。



弟子屈2 daysエコパスポート

摩周・屈斜路 環境にやさしい観光交通

ぜひご利用ください！

▶実施期間／10月6日(日)まで

▶料金

- 弟子屈2 daysエコパスポート(有効期間／発行した日から2日間)
大人1,800円(中学生以上) 子ども600円(小学生)
- バス専用エコパスポート(有効期間／発行した日から2～7日間(4種類))
 - ①2日券／大人1,500円 子ども500円
 - ②3日券／大人2,000円 子ども700円
 - ③5日券／大人2,500円 子ども1,000円
 - ④7日券／大人3,000円 子ども1,200円
- 町民エコパスポート(実施期間中(7/13～10/6)乗り放題)
大人3,000円 子ども1,500円

▶有効区間

●弟子屈2 daysエコパスポート

▷鉄道／JR釧網本線・摩周駅～川湯温泉駅

▷期間限定バス／(摩周湖バス)摩周駅～道の駅～摩周湖第1展望台(1日4便)

(屈斜路バス)川湯温泉駅～摩周湖第1展望台～川湯温泉駅～砂湯～屈斜路プリンスホテル～美幌峠(1日4便)

▷定期路線バス／通常運行している町内のバス路線

▷期間限定ジャンボタクシー／(摩周湖ジャンボ)摩周湖第1展望台～摩周湖第3展望台(1日4便)

(パノラマジャンボ)摩周駅～9〇〇草原～道の駅摩周温泉(1日1便)

●バス専用エコパスポート／期間限定バス・期間限定ジャンボタクシー

●町民エコパスポート／期間限定バス・期間限定ジャンボタクシー

▶発券窓口

●弟子屈2 daysエコパスポート・バス専用エコパスポート／JR摩周駅・JR川湯温泉駅内に設置する「エコパス・ステーション」

●町民専用エコパスポート／役場環境生活課生活係

☐問い合わせ先

●弟子屈2 daysエコパスポート・バス専用エコパスポート／(株)ツーリズムてしかが☎483-2101

●町民専用エコパスポート／役場環境生活課生活係☎482-2934(課直通)

●環境に優しい観光と地域公共交通の活性化で町を元気に

「弟子屈2 daysエコパスポート」を活用した観光交通の運行を、今年も10月6日(日)まで行っています。

エコパスポートは今年で5年目を迎え、公共交通機関を利用した環境に優しい観光交通の構築と、町の公共交通活性化を目的としています。

今年も、夏休み期間中を含んだ観光のトップシーズンに実施することで、観光客の皆さんに環境に優しい旅の形を提案していきます。

●町民の皆さんのご利用をお待ちしています

エコパスポートは、町の公共交通の活性化を目的としていますので、町民の皆さんにもぜひ利用していただきたいと思っています。

今年は、新たに「バス専用エコパスポート」と「町民専用エコパスポート」も併せて販売しています。このバス券は環境に優しいだけでなく、町民の皆さんが利用しやすく、お財布にもやさしいパスポートで、町内の協賛店でさまざまな特典も受けられます。

普段は車ばかりという方も、この機会にエコパスポートでバスを利用してみませんか？

※期間中のJRやバスの詳しい時刻表については、ホームページ(<http://www.eco-passport.net/>)をご覧ください。

※自治会やPTAなどのグループ、団体などで利用される場合は、必ず事前にご相談ください。

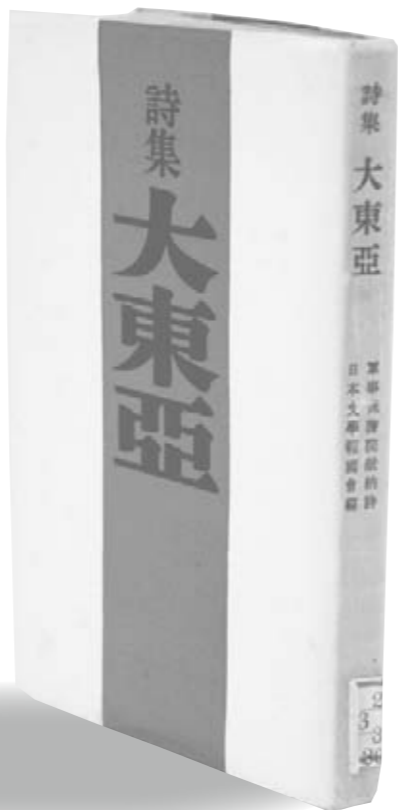
(運行車両の乗車定員などにより、ご希望に沿えない場合もあります)

主催／弟子屈町地域公共交通活性化協議会
問い合わせ先／役場環境生活課生活係☎482-2934(課直通)



更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



『詩集 大東亜』

太平洋戦争が泥沼化してきた1942(昭和17)年5月、日本文学報国会が大政翼賛会と内閣情報部の後援でつくられました。会は、小説・詩・短歌・俳句などの部門に分かれ『詩集 大東亜』(日本文学報国会編)が発行されています。

この詩集は、詩部門(高村光太郎部会長)の詩人189人により、戦地で傷病を負った兵士たちを援護する軍事保護院へ献納するために編まれたものです。更科は第二詩集『凍原の歌』に戦争詩を書いていますが、この詩集には「友は征く」と題した詩を寄せています。

満州事変以降、1938(昭和13)年3月に「国家総動員法」が成立し、物資などが統制され、言論も統制されました。この時代の言論人や文学者は、言論弾圧に歯向かって投獄されるか、沈黙するか、時局に協力するか、無関係な作品を書くか、時局に反対するが発表はしないかの、いずれかしかなかったのです。

戦後、先の戦いをたたえた文学者の戦争責任が問われ、戦争協力者として非難されることになるのですが、名の通った文学者の中には、その後に編さんされた全集などには戦争を賛美した文章は載せず、そのようなことはなかったかのよ

うに装う者もいたといわれます。

戦後になって更科は「日本は負ければ戦争に(筆者注)いいと思ったことは露ほどもなかった。略その罪を反省しろ」というのであろうか。(略)賢者のように身体をはって戦争を阻止すべきだったというのであろうか、(略)戦争指導者の真意は別として、大東亜の建設と祖国の自衛という、それを信じて愛国詩を高らかにうたいつづけてきた」と言います。また、更科を名指して「戦争中大政翼賛会と共謀して同士を官憲に売り渡した」というピラがばらまかれました。そのピラに署名した者の中には「戦争中大政翼賛会に密着して、翼賛会に私を中傷していた連中である。戦争中は勇ましく日の丸の鉢巻きをしていたが、進駐軍が来て特高警察を開放すると、素早く赤い鉢巻きにしめ代えた(略)」と、小ざかしい輩もいたのです。罪なき者が裁きを、の心境でしょうか。

戦は勝った者が正義だといいますが、時代が下っても互いが正義と信じ、武器を持って戦う紛争は世界各地で絶えません。

再び、詩人たちが不幸な詩を書くことがない時代が来ることを願いたいものです。

※大政翼賛会(1940(昭和15)年、1945(昭和20)年に存在した日本の公事結社(治安警察法において、政治に関わりぬい公共の利益を目的とする結社)。



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆特集展示『ペットとす』

9月20日〜26日は動物愛護週間です。これに伴い、ペットを飼っている方、これから飼おうと考えている方に、ぜひ読んでいただきたい本を展示します。

この機会に、動物の正しい飼い方や小さな命について、考えてみませんか?

▼場所/特集展示コーナー

☆図書館からのお願い

図書館の本の貸出期間は2週間までとなっておりますが、期限を過ぎても返却されない方が増えています。予約が入っていない場合、貸出期間を一度延長することができますので、図書館へご連絡ください。次に予約が入っている場合は延長ができませんので、ご注意ください。

新刊案内

- 「世界地図の下書き」 朝井リョウ/著
 - 「月神」 葉室麟/著
 - 「爪と目」 藤野可織/著
 - 「僕らが世界に出る理由」 石井光太/著
 - 「北海道あるある」 岡田大/著
 - 「HOW TO 花贈り」 フラワーバレンタイン推進委員会/編
 - 「『聖書』と『神話』の象徴図鑑」 岡田温司/監修
 - 「じいじとばあばのためのあそび図鑑」 NPO法人エガリテ大手前/監修
 - 「はじめて絵本 ふわふわパン作り」 おおでゆかこ/作
 - 「おトイレさん」 きたがわめぐみ/作
- たくさんのお待ちはありがとうございます!

おすすめの新聞

シルバー川柳 満員御礼

みやぎシルバーネット/編



大好評「シルバー川柳」第2弾。全句、60〜90歳代のリアルシニアが詠んだ川柳のみで構成。リアルな笑いの中にも、癒やしや生きる力が満ちていて、シニアだけでなく家族全員で楽しめます!

EMC通信

～川湯の森から～



EMCの歴史紹介コーナー

EMCは自然情報だけではなく地域の文化や歴史、人々の暮らしなどをつなぎ合わせた中心に存在するミューシウム(博物館)なので、町の歴史を紹介するコーナーも設けています。

館内の年表は「安政5(1858)年 松浦武四郎が北海道探検で弟子屈・屈斜路を踏査。その様子を『久摺日誌』にまとめる」という文

町の歴史を知るスタート地点としても!

言から始まっています。松浦武四郎が踏査した際に周辺を案内したのは、先住していたアイヌの人たちでした。彼らは硫黄山の硫黄をたき付け用として使っていました。そのことを聞きつけた漁場持地域の漁業のまとめ役である佐野孫右衛門が硫黄の採掘事業を始めたことで川湯の開拓が加速。大勢の人たちが仕事を求めて集まり、湯治場としても栄え、川湯温泉地につながっていくのです。

町内には、詳しい資料が展示してある「屈斜路コタンアイヌ民俗資料館」や「てしかがの蔵」などがあります。川湯EMCでは、これらの施設や町内にある松浦武四郎の碑などを巡るコースを「ぼん旅マップ」としてご案内しています。町内を探検しに行ってみませんか!

2階ギャラリー企画展 「新たな発見!? 弟子屈ってこんなところ」開催!

何事も事前準備が大切です。町内を探検する前に、まずはEMCで情報収集していきましょう!

9月の2階ギャラリー企画展は「新たな発見!? 弟子屈ってこんなところ」。この地に先住していたアイヌの人たちの暮らしぶりから始まり、硫黄山開発や開拓期を経て、大正〜昭和時代へと移り変わり、観光地として栄えてきた町の様子を紹介いたします。気が付かなかった別の魅力が見えてくるかもしれませんよ。



てしかがの蔵収蔵品も展示

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100
9月は8:00〜17:00開館(無休)



中央大駅伝部の指導を受ける参加者

感じました。中央大学駅伝部は創部88年、箱根駅伝では出場85回、連続出場84回、優勝14回と史上1位の成績を残しています。



仲間の声援を受けながら

第34回美羅尾山ろく完走マラソン大会参加者募集

- ▶期日/10月14日(月) 体育の日
- 受け付け/8時45分~
- 開会式/湯の島寿の家前 9時30分
- 競技開始/10時
- ▶コース/市街地釧路川沿線
- らくらくコース(1キロ)
- ほのぼのコース(3キロ)
- さわやかコース(5キロ)
- ▶参加資格/小学生1年生以上の町民の方。(家族で参加するお子さんに限り3歳以上)
- ▶参加料/無料
- 申し込み・問い合わせ先/町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。



昨年の大会の様子

中央大学駅伝部によるスポーツ体験教室

中央大学駅伝部によるスポーツ体験教室が8月19日、弟子屈小学校グラウンドで行われました。同部は1997年から17年連続で本町で夏合宿を行っています。スポーツ体験教室は、合宿中の部員と町民の皆さんとの交流の場として開催されていて、今年は101人が参加。浦田春生監督(バルセロナオリンピック1万1千メートル日本代表やコーチ、選手らの指導のもと、ウォーミングアップから基本的な走り方、スタートダッシュなどを学びました。最後には、選手と1千メートル走を行い、箱根駅伝のスピードを体験しました。

第25回弟子屈町民水泳大会兼記録会が8月11日、川湯屋内温水プールで行われました。大会では、町内外から集まった5歳から85歳のスイマー120人が、日頃の練習の成果を競いました。結果は次のとおりです。(敬称略)

- ▼最優秀選手賞/濱岡菜月(摩周)
- ▼優秀選手賞/大沢勇翔(中標津)
- 北受奈々(中標津)
- ▼努力賞/及川勉(網走・濱岡春菜(摩周))



日頃の鍛錬の成果を発揮

弟子屈町民水泳競技大会兼記録会

みんなの活躍を紹介

(敬称略)

- 全道大会結果
- ▼第34回北海道中学校ソフトテニス大会(8月2日から帯広市)▽星川海斗、河上勉(いずれも弟子屈中3年)ペア3回戦敗退▽佐藤晴紀、常陸幹太(同)ペア2回戦敗退▽清水皓太、杉山圭吾(同)初戦敗退、団体予選敗退▽原朱里(同)、黒野春華(同2年)ペア、初戦敗退
- ▼秩父宮賜杯第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(7月30日から大分県 西田健修 弟子屈高校1年)砲丸投げ予選敗退
- ▼第34回北海道中学校水泳大会(7月26日から江別市)▽芝田遥夏(弟子屈中1年)200メートル・400メートル自由形、予選敗退▽濱岡日菜(川湯中3年)100メートル自由形予選敗退
- ▼第68回国民体育大会北海道代表選手選考会(8月17日から網走市)▽岡林輝・少年B200メートル▽西田千種少年B100メートル▽ハードル(いずれも弟子屈中3年)

生涯学習だより

発行/弟子屈町生涯学習推進本部
事務局/教育委員会社会教育課 ☎482-2948(課直通)

芸術鑑賞バス事業 「いっこく堂スーパードライブ in KIYOSATO」

世界が認める腹話術師・いっこく堂とヒューマンビートボックスのショーを楽しみませんか。
▼日時/10月5日(土) 開場18時 開演18時30分(町公民館前16時30分出発)
▼場所/清里町生涯学習総合センター(プラネット97)
▼定員/20人(定員になり次第締め切らせていただきます)
▼チケット料金(全席自由)/大人3千円・高校生以下1千500円
▼申込締切日/9月17日(火)
□申し込み・問い合わせ先/弟子屈町公民館 ☎482-2340まで

「藻琴山登山」の参加者募集

7月に雨で中止になった「藻琴山登山に挑戦」を、再度開催します。
▼日時/10月12日(土) 8時町公民館前出発(雨天中止)
▼講師/摩周山岳協会
▼対象・定員/町民の方・30人(小学生の方は保護者同伴)
▼参加料/無料
▼持ち物/リュックサック・帽子・タオル・お弁当・飲み物(水・お茶)・携帯食・敷物・カッパ(必ず用意)
▼申込締切日/9月24日(火)



白熱のパン釣り

「生きがい講座」で学んでいます

8月の生きがい講座は、弟子屈川湯両学級の合同室内小運動会。9日に摩周観光文化センターで開催しました。紅白に分かれ、パン釣りや玉入れ、ヨーヨー釣りなどの競技を楽しみながら、両学級の交流を図りました。
▼今月の生きがい講座
●弟子屈学級/「近隣市町村を学ぼう!」施設見学(遠軽方面コスモス) 9月10日(火)
●川湯学級/「交流を通して親睦を図ろう!」鶴居村との交流会(パークゴルフなど) 9月20日(金)

「夏休み子ども体験学習」

役場農林課と公民館連携で開催した夏休み子ども体験学習「触れてみよう!作ってみよう!学んでみよう!」が7月29日に行われ、町内の小学校3~6年生、17人が参加しました。



子牛との触れ合いを楽しむ子どもたち

最初に訪れたのは川湯エココミュニティセンター。悪天候のため残念ながらガイドウォークは行えず、同センター内で小枝や松ぼっくりを使ったネイチャークラフト体験を行いました。その後、屈斜路コタンアイヌ民俗資料館で歴史や文化を学びました。午後からは渡辺体験牧場で子牛と触れ合った後、アイスクリーム作りを体験。自分で作ったアイスクリームをおいしくいただきました。最後に「てしかがの蔵」を訪れ、弟子屈の歴史について学びました。

公民館ロビー展



8月のロビー展で展示された貴重な資料の数々

8月3日から30日まで「拓殖課拓地係 技術員は何をしてきたか」測量技術者と拓地の人々」が開催されました。
昭和20年代、釧路国支庁職員として弟子屈や標茶などの拓地測量に従事した井上淳さんが制作した、業務や測量方法の解説パネルと、拓地の人々とその表情を撮影した写真が展示されました。他にも測量で当時使用されていた平面図の縮小機や、方向、角度を測量するための機具などが展示され、背景と歴史をロビー展を通じて学ぶことができました。
▼9月のロビー展
釧根「絵手紙移動展」/釧路根室管内で活動している絵手紙サークルの皆さんの作品が展示されます。9月4日(水)~8日(日)
▼夏休み児童・生徒作品展/町内小・中学生が夏休みに取り組んだ作品が展示されます。9月12日(木)~22日(日)

野菜をもお〜つと食べましょう!

お手軽野菜料理レシピ

今回は、ローカロリーで食物繊維が豊富な「キノコ類」を使った料理を紹介します。

キノコのしょうゆ漬け

【材料】

- 生シイタケ 5枚
- エノキ茸 大1袋
- シメジ 1袋
- ナメコ 1袋
- 酒 大さじ1弱
- しょうゆ 大さじ3
- みりん 大さじ1
- だし汁 大さじ2
- 青トウガラシ 2〜5本
- ショウガ 1片分

【作り方】

- キノコはそれぞれ石づきを取り、シイタケは薄切り、エノキは半分に切り、シメジはほぐす。
- 耐熱容器にキノコを入れ、酒を振りかけてラップをし、電子レンジで3分くらい加熱して冷ます。別の容器に調味料を入れ、電子レンジで沸騰するまで加熱して冷ましておく。
- ②を合わせ、小口切りにした青トウガラシ、千切りにしたショウガを混ぜ合わせ、1時間以上漬ける。
※豆腐や加熱した魚などに乗せたり、パンなどに付けて食べてもよいです。
※冷蔵庫で4日くらいは保存できます。

シイタケのカレーツナマヨ焼き

【材料(6個分)】

- 生シイタケ 大きめ6個
- ツナ缶 1個 (80g入り・できれば水煮のもの)
- 小ネギ 10本 (好みで増やしてもよいです)
- マヨネーズ 大さじ3くらい
- カレー粉 小さじ1/4〜1/3 (好みで加減を)
- 塩・こしょう 少々

【作り方】

- シイタケの軸を取り、石づきを取って刻む。ツナ缶は汁けを切る。小ネギは小口切りにする。
- シイタケの軸とツナ、小ネギ、調味料を混ぜ合わせ、シイタケのかさの裏側に乗せて、余熱したオーブンを開けてオーブントースターで焼き色が付くまで焼く。
※小ネギを全部混ぜずに少し取っておき、焼いてから散らしてもよいです。
※チーズを乗せて焼いてもおいしいです。



調理実習のお知らせ!

- ▶内容/ジャガイモの簡単グラタン
- ▶日時/9月20日(金) 10時〜13時30分
- ▶場所/川湯ふるさと館
- ▶定員/8人
- ▶参加費/300円
- ▶持ち物/エプロン、三角巾
- ▶申し込み締め切り/9月17日(火)
- ▶申し込み・問い合わせ先/健康推進課健康推進係(栄養士) ☎482-2935(課直通)まで。
- ※調理実習やレシピのことでご意見などありましたら、栄養士までご連絡ください。

問い合わせ先/役場健康推進課健康推進係 ☎482-2935(課直通)

町内3団体が金賞に輝く

第50回釧路地区吹奏楽コンクール



川上シンフォニア・ウィンド・アンサンブルの皆さん

第50回吹奏楽コンクール(釧路地区吹奏楽連盟など主催)が7月27・28の両日、釧路市で行われ、町内から出場した3団体がそれぞれ金賞を受賞しました。金賞に輝いたのは、弟子屈中学校吹奏楽部、川上シンフォニア・ウィンド・アンサンブルです。同コンクールは、釧路地区の小学校・中学校・高等学校・大学・一般を対象に毎年行われています。今回は65団体から約1千600人が出場。演奏者数の規模によってA編成・B編成・C編成に分かれ、審査によって金・銀・銅の各賞が贈られます。弟子屈中学校は20校が出場した中学校C編成(25人以上)の部に、弟子屈高校は9校が出場した高校C編成(同)の部に、川上シンフォニア・ウィンド・アンサンブルは3団体が出場した一般C編成(35人以上)の部にそれぞれ出場し、それぞれ金賞を獲得。弟子屈高校は、9月に札幌市で開催される北海道吹奏楽コンクールへの出場を決めました。町内3団体が同時に金賞を受賞するのは史上初、弟子屈中学校の金賞受賞は11年ぶり、弟子屈高校の全道大会出場は校史初のことです。



弟中吹奏楽部の皆さん(上)と弟高吹奏楽部の皆さん(下)

第50回吹奏楽コンクール(釧路地区吹奏楽連盟など主催)が7月27・28の両日、釧路市で行われ、町内から出場した3団体がそれぞれ金賞を受賞しました。金賞に輝いたのは、弟子屈中学校吹奏楽部、弟子屈高校吹奏楽部、川上シンフォニア・ウィンド・アンサンブルです。同コンクールは、釧路地区の小学校・中学校・高等学校・大学・一般を対象に毎年行われています。今回は65団体から約1千600人が出場。演奏者数の規模によってA編成・B編成・C編成に分かれ、審査によって金・銀・銅の各賞が贈られます。弟子屈中学校は20校が出場した中学校C編成(25人以上)の部に、弟子屈高校は9校が出場した高校C編成(同)の部に、川上シンフォニア・ウィンド・アンサンブルは3団体が出場した一般C編成(35人以上)の部にそれぞれ出場し、それぞれ金賞を獲得。弟子屈高校は、9月に札幌市で開催される北海道吹奏楽コンクールへの出場を決めました。町内3団体が同時に金賞を受賞するのは史上初、弟子屈中学校の金賞受賞は11年ぶり、弟子屈高校の全道大会出場は校史初のことです。

町の話



町の話

地域の役に立ちたい

1社1団体による社会貢献活動



道の駅周辺で落ち葉などを回収(弟子屈道路事務所管内安全連絡協議会)

同日、弟子屈道路事務所管内安全連絡協議会(山下和憲会長の皆さんが、道の駅「摩周温泉」周辺の清掃を行いました。夏の観光シーズンを迎え、本町を訪れる方々を気持ちよく迎えた。歩道の清掃など、丁寧に作業を行っていました。

明盛建設(株)藤田利道代表取締役の皆さんが8月8日、川湯墓地内の環境整備を行いました。お盆を迎えるにあたり、墓地を訪れる方に気持ちよく利用してほしいと行なったもので、8人が参加。5時間にわたって、丁寧に草刈りを行いました。



手分けして丁寧に作業を行う皆さん(明盛建設)

8月1～16日
昔懐かしい露店やアイヌの古式舞踊などでにぎわう
湯のまち川湯源泉まつり



昔懐かしい露店の雰囲気を楽しむ

湯のまち川湯源泉まつり(同実行委員会(岩崎義人実行委員長)主催)が8月1日～16日、川湯の湯の川園地で開催されました。

観光客の皆さんなどに田舎の夜祭りの雰囲気を味わってもらおうと、毎年行われています。足湯を目指してきた観光客や地元の家族連れなどが、射的や綿あめ、ストラックアウトなどの露店に立ち寄り、例年以上のにぎわいを見せました。また、特設ステージで行われるアイヌ古式舞踊も人気を集めました。

7月29日
今年も上出来です
摩周メロン豊穡祭



メロンカットで豊穡を祝う

摩周メロン生産組合(窪内繁義組合長)の「豊穡祭」が7月29日、町農産物集出荷センターで行われました。豊穡祭では、豊島洋樹摩周湖農協参事と藤原将男弟子屈郵便局長、吉備津副

町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷を祝いました。摩周メロンは同組合の8戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」だけの取り扱いで、市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。例年並みに玉ぞろい、糖度ともに良い出来で、約2万玉の出荷を予定しています。

7月20日～8月31日
北海道らしさいっぱいの体験コーナー
川湯エコミュージアムセンターで夏休み特別企画



自然素材を使って親子でクラフト制作

川湯エコミュージアムセンターで7月20日～8月31日、夏休み特別企画「The Summer Vacation 2013」が行われ、家族連れなどでにぎわいました。折り紙を使って道内に

いる野生動物を作るコーナー、アイヌ文様の切り絵を体験できるコーナーでは、2つ3つと挑戦する姿が多く見られました。クラフトコーナーには木の枝で写真立てを作るキットが用意され、マツボックリのフクロウで飾りつけをするなど、個性あふれる作品が次々と出来上がりました。子どもたちは「夏休みの工作にする」と満足げな笑顔を浮かべていました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

8月7日
家族そろって初めての里帰り
故横綱大鵬のご家族が役場を表敬訪問



町長らと談笑する芳子夫人(右から2人目)

今年1月に逝去した本町の名誉町民第1号の第48代横綱 大鵬こと故納谷幸喜さんの芳子夫人ほかご家族

が8月7日、役場を表敬訪問されました。プライベートでの北海道旅行中に立ち寄ったもので、納谷さんのお子さんやお孫さんも一緒に来町は初めての事です。6日には納谷家のお墓参りをして大鵬相撲記念館を訪問、7日には摩周湖と道の駅「摩周温泉」を訪れました。その後は、網走市と旭川市を巡って9日に北海道を後にしました。いつもとは一味違った思い出になったようです。

8月2日
釧路川ってきれいな川なんだね
弟中生が釧路川水生生物による水質調査



試薬を使って水質を調査

弟子屈・標茶の両中学生が8月2日、釧路川の鋸別樋門近くで水生生物による水質調査を行いました。

釧路開発建設部釧路河川事務所が1984年から行っているもの。河川の水質を定期的に点検し、データを蓄積するとともに、地域の中学生に環境保全に関する意識を高めてもらうことが目的です。両中学校から2人が参加し、簡易水質試験用具による水質調査、川の生物の捕獲と観察による川のきれいさの判定、投網を使っての魚類の調査などに挑戦。釧路川の水のきれいさを再確認していました。

7月25日
平和の尊さを忘れない
戦没者追悼式で誓いを新たに



戦没者の冥福を祈って献花

弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センターで行われ、遺族や関係者など約

50人の参列者が黙とうをささげました。徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙行できることは誠に意義深い」と式辞を述べました。その後、参列者一人一人が献花し、平和への誓いを新たにしました。

7月23日
皆さんが歩きやすい登山道に
摩周岳登山道でササ刈り



手際よくササを刈る参加者の皆さん

川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが7月23日、摩周岳登山道のササ刈りを行いました。

片道約7.2キロの登山道は、ササが伸びると道に覆いかぶさってしまうので、毎年2回、刈り取りを行っています。この日は今年の1回目で、27人が参加。作業は4グループに分かれて行われました。先頭の人が機械で刈り、後続の人たちが刈られたササを熊手で払っていき、4時間ほどで歩きやすい登山道になりました。次回は9月に行われる予定です。

8月19日
安全にお祭りを楽しんでもらうために
弟子屈神社祭りの露店を緊急点検



露店を1軒1軒点検

弟子屈消防署(西川進署長)では8月19日、同月15日に京都府福知山市の花火大会で起こった屋台火災を受け、緊急に弟子屈神社祭りの露店の立ち入り

検査を行いました。京都の火災が発電機にガソリンを給油した際に発生したものであることから、ガソリンなどの取り扱いやガス機器の適正な使用方法など、防火対策の強化を指導しました。検査の結果、設置されていた消火器の使用期限切れや安全栓が抜けていたなどについて、早急に改善を求めました。

8月中旬
夏の人気観光スポット
皆さんの目を楽しませたヒマワリ



満開のヒマワリをカメラに収める

夏の風物詩となっている屈斜路地区と旧弟子屈飛行場跡地のヒマワリが8月中旬に満開となり、下旬までたくさんの方の目を楽しませました。

屈斜路地区は屈斜路パークゴルフ場近くの農地約5ヘクタールに、約100万本のヒマワリが咲きました。摩周湖農協畑作振興会が、国の中山間事業を活用し、景観緑肥として栽培しています。旧弟子屈飛行場跡地は、約2ヘクタールに約40万本が植えられ、観光客などが足を止めて見入っていました。

7月28日
清掃活動を通じて自然公園の美化意識を高める
パークボランティアが屈斜路湖畔清掃



手分けして屈斜路湖畔のごみ拾い

川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている、摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんが7月28日、屈斜路湖畔で清掃活動を行いました。

環境省では、毎年8月の第1日曜日を「自然公園クリーンデー」とし、清掃活動を通じて自然公園の美化意識を高める取り組みを行っています。今回の活動は、その取り組みに基づいて行われたもので、町指定の天然記念物「マリゴケ」が多く見られる東岸の浜などでごみを拾い集めました。参加したボランティアの皆さんは「自分一人だけなら…と思ってごみを捨てるのはやめてほしい」と話していました。

7月28日
親子で木工に挑戦
林業多目的センターで夏休みトンカチ広場



親子でアイデアを出し合っている

町と町森林組合共催の木工教室「切ったたいて工作しよう～夏休みトンカチ広場～」が7月28日、林業多目的センターで行われました。

子どもたちの夏休みの工作の参考にと開催されているもので、今年で17回目。建設現場で残った角材やベニヤ板などを活用して、巣箱などを作る催しです。今年は木製のゲームを作るキットのあっせんも行われました。参加した小学生とその保護者など約40人は、思い思いの作品作りに熱中していました。

9月 川湯屋内プールのお知らせ ☎483-2072

- 初心者水泳教室(一般成人)
 - ◇日時/1、15、29日 14時~14時45分
- がんばれ水泳教室(25メートル泳げる成人)
 - ◇日時/4、6、⑪、13、⑱、20、25、27日 14時~14時45分
 - ※〇は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中運動教室(一般成人)
 - ◇日時/5、7、12、14、⑲、㉑、㉒、28日 14時~14時45分
 - ※〇は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中ジョギング教室(一般成人)
 - ◇日時/4、11、18、25日 10時30分~11時15分
- ナイト水中ジョギング教室(一般成人)
 - ◇日時/6、13、20、27日 19時~19時45分
- フリー教室(幼児・小学生教室参加の保護者)
 - ◇日時/1、7、14、15、21、28、29日 10時30分~11時15分
- 幼児水泳教室(幼児3~5歳)
 - ◇日時/1、15、29日 10時30分~11時15分
- 小学生水泳教室(初めて水泳を習う小学生)
 - ◇日時/7、14、21、28日 10時30分~11時15分
- 選手コース(摩周スイミングスクール所属)
 - ◇日時/1、4、5、6、7、11、12、13、14、15、16、18、19、20、21、23、25、26、27、28、29日 15時~17時



利用料

- 小・中・高校生/無料
- 一般/520円(税込み)

休館日

- 今月の休館日(2、3、8、9、10、17、22、24、30日)

開館時間

- 毎月第2・4土曜日は無料開放日!
- 10時~17時(水・木・金・土・日)

休日公証相談を行います

▼日時/9月29日(日) 10時~16時

▼場所/釧路公証人役場(釧路市末広町7丁目2番地 金森ビル)

▼相談内容/遺言、相続、任意後見、尊厳死宣言、お金の貸し借り、賃貸借、離婚に伴う養育費・慰謝料・財産分与など。

▼相談料/無料

▼申し込み方法/相談を希望される方は、9月27日(金)までに電話で予約してください。

□予約・問い合わせ先/釧路公

法務局休日相談所と法なるほど講座開設

証人役場 ☎0154-251365まで。

法務局では、公証人会・司法書士会・土地家屋調査士会・人権擁護委員連合会と連携して、登記・供託・戸籍・人権擁護事務など所掌する事務に関する相談をお受けする「全国一斉!法務局休日相談所」と、公証人などによる「法務局なるほど講座(遺言について)」を開設します。相談・講演は無料で秘密は守られますので、お気軽にご利用ください。

高齢者・障がい者の高入権あんしん相談

法務省と全国人権擁護委員連合会では、9月9日(土)15日(金)を全

▼日時/10月6日(日) 10時~15時(事前予約優先)

▼場所/釧路地方合同庁舎5階会議室(休日相談所)・2階会議室(なるほど講座)

□申し込み・問い合わせ先/釧路地方法務局総務課 ☎0154-250000まで。

国一斉「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間とし、電話による相談時間を延長して対応します。

▼相談受付日時

- 9月9日(月)~13日(金) 8時30分~19時
- 9月14日(土)・15日(日) 10時~17時

▼相談担当者/釧路人権擁護委員連合会所属人権擁護委員・釧路地方法務局職員

□問い合わせ先/釧路地方法務局人権擁護課 ☎0154-25014(直通)まで。

文化センター使用に係る会議を開催

摩周観光文化センターの冬季アリーナ使用に関する打ち合わせ会議を開催します。代表の方が出席できない場合は、代理の方の出席をお願いします。新たに使用を希望する団体は、同センターまでお問い合わせください。

▼日時/9月18日(水) 19時

▼場所/摩周観光文化センター2階研修室

▼内容/11月1日(金)~平成26年

子どもフェスティバルを開催

5月31日(土)の使用割り当て会議。(日曜日を除く18時~21時に使用を希望する団体対象)

□問い合わせ先/摩周観光文化センター ☎482-1811まで。

▼日時/9月7日(土) 10時~14時

▼場所/町公民館

▼内容/折り紙&ペーパークラ

法の日週間無料法律相談所を開設

法の日週間に当たり、無料法律相談所を開設します。

▼主催/釧路地方裁判所、釧路家庭裁判所、釧路地方検察庁、釧路地方法務局、釧路弁護士会、法テラス釧路

▼日時/10月1日(火) 10時~15時

法の日週間(10月1日~7日)に、無料法律相談所を開設します。

▼日時/10月1日(火) 10時~15時

▼予約受付期間/9月2日(月)~9月27日(金)(土・日曜日、祝日を除く)の8時30分~17時に、電話で予約をしてください。

▼予約・問い合わせ先/釧路地方検察庁企画調査課 ☎0154-3051(直通)まで。

文化センター使用に係る会議を開催

5月31日(土)の使用割り当て会議。(日曜日を除く18時~21時に使用を希望する団体対象)

□問い合わせ先/摩周観光文化センター ☎482-1811まで。

子どもフェスティバルを開催

5月31日(土)の使用割り当て会議。(日曜日を除く18時~21時に使用を希望する団体対象)

□問い合わせ先/摩周観光文化センター ☎482-1811まで。

法の日週間無料法律相談所を開設

法の日週間に当たり、無料法律相談所を開設します。

▼主催/釧路地方裁判所、釧路家庭裁判所、釧路地方検察庁、釧路地方法務局、釧路弁護士会、法テラス釧路

▼日時/10月1日(火) 10時~15時

法の日週間(10月1日~7日)に、無料法律相談所を開設します。

▼日時/10月1日(火) 10時~15時

▼予約受付期間/9月2日(月)~9月27日(金)(土・日曜日、祝日を除く)の8時30分~17時に、電話で予約をしてください。

▼予約・問い合わせ先/釧路地方検察庁企画調査課 ☎0154-3051(直通)まで。

生活情報をみなさんにお知らせ!

Information

- 連絡先**
- 役場 ☎482-2191
 - 川湯支所 ☎483-2043
 - 屈斜路支所 ☎484-2052

文化センターガイド 9月 アリーナ町民開放日

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
区	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
分			休					◎		休					◎
日	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
区	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
分		休					◎		休						◎

◎=全面 休=休館日
(時間帯は18:00~21:00です)
8月8日現在の予定ですので、町民開放利用を希望する方は、文化センターにあらかじめお問い合わせください。

- 今月の主な行事予定**
- 1日 北釧路支部第32回・道東地区第24回吟道大会
 - 13・16日 更科文学賞の合唱練習(夜間のみ)
 - 14日 ヘルスアップウォーキング(雨天時)
 - 15日 弟子屈町ソフトバレーボール親睦交流大会
 - 19日 茨城県立麻布高校修学旅行(雨天時)
 - 20~22日 車椅子バスケットボール選手権大会
 - 24・25日 旭川北高等学校吹奏楽部
 - 27日 遠軽高等学校吹奏楽部マーチング練習
 - 28日 上湧別中学校吹奏楽部マーチング練習
 - 30日 神奈川県立伊勢原高等学校修学旅行(荒天時)

問い合わせ先
釧路圏摩周観光文化センター ☎482-1811

町営住宅 入居者を募集します

役場では、次の期間で町営住宅入居者を募集します。入居者は、条件を備えている方から、困窮度などに応じて決定します。

- ▶受付期間／9月2日(月)～9月9日(月)(土・日曜日を除く)
 - ▶受付窓口／役場建設課管理係・川湯支所
 - ▶入居時期／9月下旬～10月上旬の予定
 - ▶入居敷金／住宅料(月額)の3倍の額(緑団地単身者用は住宅料の2倍の額)
- ※入居要件、入居基準など、詳しくはお問い合わせください。
 ※入居しようとする方、同居しようとする親族などが暴力団員である場合は、入居が認められません。

□問い合わせ先／役場建設課管理係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 1 (課直通)まで。

団地名・構造	建設年度	規模	月額住宅料	戸数	備考
※泉団地(中層耐火3階建)	H 8	3LDK	24,900～37,100円	1	74.94㎡(2階)
美留和団地(簡易耐火平屋建)	S52	3DK	9,000～13,400円	1	53.61㎡
川湯駅前団地(簡易耐火平屋建)	S61	3DK	14,300～21,200円	1	63.71㎡
※緑団地(中層耐火4階建)	H 3	2DK	17,300～25,800円	1	59.99㎡(1階)
※緑団地(中層耐火4階建)	H 3	3DK	20,900～31,100円	1	72.20㎡(4階)
※緑団地単身者用(中層耐火3階建)	H 6	1DK	30,000円	1	47.40㎡(3階)

注1 ※印の団地は、管理費が毎月200～3,000円程度かかります。(団地によって異なります)
 注2 場合によっては募集内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

募集 自衛隊各種学生 平成26年4月採用の自衛隊各種学生を募集します。



種目	資格	受付期間	試験日	試験場所
防衛医科大学校医学科学生	高校を卒業した方(見込みを含む)で21歳未満の方	9月5日(木)～9月30日(月)	11月2日(土)・3日(日)	帯広地方協力本部 釧路出張所会議室(3階)
防衛大学校 一般(前期)			11月9日(土)・10日(日)	
防衛医科大学校看護学科学生			10月19日(土)	道東経済センタービル

問い合わせ先／自衛隊帯広地方協力本部釧路出張所 ☎ 0 1 5 4 ② 1 0 5 3

ヒグマ注意特別月間 期間: 9月7日(土)～10月31日(木)

キノコ採りやハイキングなどで、野山へ入る機会が増える季節となりました。秋は、ヒグマによる事故やヒグマとの遭遇が増える季節です。楽しく過ごすためにも、ヒグマによる事故に遭うことのないよう、特に注意をお願いします。

▶ヒグマの被害に遭わないために

- 事前にヒグマの出没状況を確認する／一人では野山に入らない／野山では音を出しながら歩く／
- 薄暗いときには行動しない／フンや足跡を見たら引き返す／食べ物やごみは必ず持ち帰る

□問い合わせ先／役場農林課林務係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 6 (課直通)・釧路総合振興局保健環境部環境生活課 ☎ 0 1 5 4 ④ 9 1 5 1 まで。 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/yasei/yasei/higuma/shichoson_link_page.htm (道内ヒグマ情報)



9月の町税などの納期限

今月の町税などの納期限は次のとおりです。納め忘れのないようにしましょう。

- ▶固定資産税 3期
- ▶国民健康保険税 4期
- ▶後期高齢者医療保険料 4期

※いずれも9月30日(月)

夜間納税窓口を開設

日中、仕事などで役場に来られない方々のために、次の日程で『夜間納税窓口』を開設します。ぜひ、ご利用ください。

- ▶開設日／9月25日(水)
- ▶開設時間／午後8時まで
- ▶開設場所／役場庁舎・川湯支所
- 問い合わせ先／役場税務課 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 4 (課直通)まで。

公証週間に電話相談受け付け

日本公証人連合会本部では、

- 相談担当者／釧路人権養護委員協議会の「子ども人権委員」・人権擁護委員・釧路地方公務局人権擁護課職員
- 問い合わせ先／釧路地方公務局人権擁護課 ☎ 0 1 5 4 ⑤ 5 0 1 4 (直通)まで。

- ▼日時／9月30日(月)～10月4日(金)の8時30分～19時
- ▼相談電話／☎ 0 1 2 0 ・ 0 0 7 ・ 1 1 0 (通話料無料・全国共通)

子どもの人権110番を開設します

子どもの人権に関する相談に、無料で応じます。

- ▼日時／10月1日(火)～7日(月)9時30分～正午・13時～16時30分(土・日曜日実施)
- ▼電話番号／☎ 0 3 ・ 3 5 0 2 ・ 8 2 3 9
- 問い合わせ先／釧路地方公務局総務課 ☎ 0 1 5 4 ③ 5 0 0 0 まで。

ノルディックウォーキング推進員養成

釧路保健所では、生活習慣病予防対策に有効な運動とされているノルディックウォーキングの普及を目的に、推進員の養成講習会を開催します。

- ▼日時／10月9日(水) 10時30分～15時30分(10時受け付け)
- ▼場所／湿原の風アリーナ釧路

寄附ありがとうございます

- ▼1階会議室・屋外 対象：定員／医療機関などの健康増進事業担当者、関係団体(体育協会、歩こう会など)、参加を希望する方(スポーツインストラクター、体育指導員、健康推進員など)・40人
- ▼受付期間／10月1日(火)まで。
- 申し込み・問い合わせ先／釧路保健所健康増進課健康増進係 ☎ 0 1 5 4 ② 1 2 3 3 まで。
- 山田 貢 様(字弟子屈) 現金 3万円
- ▼伊藤 和 征 様(美里4) 現金 10万円
- 亡母(伊藤時江)が生前、町にお世話になったお礼として、老人福祉に役立ててほしい。
- 一般社団法人 北海道開発技術センター 理事長 本多 満 様
- ▼解説パネル 3枚
- ▼リーフレット 一式
- 大鵬相撲記念館の施設運営のために役立ててほしい。
- 廣本 幹子 様(朝日3) シャクナゲ 2本
- ▼ツツジ 5本
- 道の駅周辺の景観整備に役立ててほしい。

(広告)

釧路司法書士会 土地・建物の売買・相続等の登記は司法書士へ

司法書士 宮越昭一事務所

事務所／標茶町開運2-35 ☎485-2107 FAX485-2108
 自宅／弟子屈町高栄1-1-21 ☎482-2457

おはなしはらっぱ 9月

テーマ 『夜とお月さま』

- ☆14日／『おつきさんの めだまやき』 ほか2冊
 - ☆21日／『ほしが いっぱい』 ほか2冊
 - ☆28日／『まんまる おつきさん』 ほか2冊
- ※7日は「子どもフェスティバル」のため、お休みします。

○時間／午後1時～ ○場所／弟子屈町図書館
 おはなしはらっぱは毎週土曜日午後1時！ みんな集まれ！

Monthly Schedule

今月のこよみ

日	月	火	水	木	金	土		
1		ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～) 母子手帳交付(役場・10:00～)	ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～)	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	第10回子どもフェスティバル(公民館・10:00～)		
8		ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～) 母子手帳交付(役場・10:00～)	ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 予防接種「二種混合」(摩周厚生病院・15:00～)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯ふるさと館・9:30～11:30)	親子遊び「芋掘り」(10:30～11:30)【要予約】 ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・14:00～16:30)	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)		
15	16	敬老の日	ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 人権相談(公民館/川湯消防会館・13:00～)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) 乳児・1歳半児健診(福祉センター・9:15～) フッ素塗布(福祉センター・10:00～) 予防接種「BCG」(福祉センター・14:30～)	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)		
22	23	24	28	秋分の日	ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	乳・子宮がん検診(釧路がん検診センター) 保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯ふるさと館・9:30～11:30) 夜間納税窓口開設(役場/川湯支所・20:00まで)	親子遊び「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30) ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・14:00～16:30)	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 行政相談(公民館・13:00～)
29		特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～) 母子手帳交付(役場・10:00～) 固定資産税3期、国民健康保険料4期、後期高齢者医療保険料4期納期限				記号の見方 ①～健診や子育て相談など ②～行政相談、人権相談 ③～保育園開放など ④～子育て支援センター開放など ⑤～税の納期など ⑥～イベント、その他		

■問い合わせ先 健康推進課 ☎482-2935 環境生活課 ☎482-2934 税務課 ☎482-2914 おひさま保育園 ☎482-2444 子育て支援センター「ひなたぼっこ」 ☎482-5667

●編集後記

▼先日、屈斜路湖畔で初めて熊を目撃しました。熊との距離約50m。熊と目が合い、しばらくの間動けなくなりました。幸いにして熊の方から立ち去り、事なきを得ました。秋を迎え、冬眠準備のため熊が活発に活動を始めます。釣りやキノコ採りなどで山に行く時は、十分注意してください。(渡田)

▼各地で大雨に伴う土砂災害などが相次いだ8月でした。いよいよ地球が怒っているような気が個人的にはします。普段、自然の恵みを享受している半面、その自然が猛威を振るったとき、人はとてもかたがた震えます。万が一への備えはしておきたいと、防災の日を前にあらためて思います。(宮田)

●人のうごき 7月末現在

●人口計 8,045人 (プラス11)

●世帯数 3,990世帯 (プラス9)

●お誕生おめでとうございます

山本 紗菜ちゃん(昇平) 美里 2
櫻岡 凛音ちゃん(勝弘) 美里 2
長尾 緋月ちゃん(亮亨) 朝日 3
荒木 幸翔ちゃん(聖孝) 高栄 4
菅結衣菜ちゃん(耕司) 湯の島 1

お悔やみ申し上げます

岩崎 忠夫さん(63歳) 朝日 3
佐藤 律子さん(76歳) 泉 2
永江 文雄さん(83歳) 川湯温泉 4
山田 タマさん(91歳) 字弟子屈
渡辺 健二さん(67歳) 美里 5
川東みさ子さん(59歳) 美里 6
川口キヨ子さん(87歳) 泉 3

※お誕生お悔やみは、7/1～7/31に届け出をされた方うち、掲載を希望された方のみ掲載しています。

ひとなつたよ



小野 真一郎 ちゃん



木村 颯月 ちゃん



中川 凌介 ちゃん



三ツ山 瑛士 ちゃん



村上 愛 ちゃん

9月9日は「救急の日」

9月9日は、9(きゅう)9(きゅう)という語呂合わせから「救急の日」となっています。

救急の日には全国各地で、応急手当の講習会を中心とした救急に関するさまざまな行事が行われています。町民の皆さんも、救急の日を機会に救命講習を受講してみませんか。弟子屈消防署では、いつでも救命講習を受け付けています。受講希望がありましたら、弟子屈消防署救急係 ☎482-2073までお気軽にお問い合わせください。



救急車の適正利用について

ここ数年、全国的に救急件数が増加傾向にあります。救急出動の中には、救急車でなくてもよい軽症の出動も少なくありません。不適正な救急車の利用により、緊急性があり本当に救急車を必要としている方への適切な救命処置などが遅れ、救える命が救えなくなる可能性があります。救急車の正しい利用について、今一度考えてみましょう。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

※緊急性があり、本当に救急車が必要なときは、ためらわずに救急車を呼んでください。

火事と救急は119番 弟子屈消防署

7月末までの出動件数

火災	弟子屈	4件
	川湯	1件
救急	弟子屈	245件
	川湯	69件

☎482-2073 E-mail:teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp